

建設業年末年始労働災害防止強調期間

「無事故の歳末 明るい正月」

慌しい年末のこの時期、現場の作業には普段以上の危険要因が発生します！
“明るい正月”を迎えるために、事故、災害を確実に防いでいきましょう！

いよいよ12月です、今年も年の瀬を迎えますね
完成目標を目指して、工事の施工もピッチをあげている
ところですが、安全管理が二の次になっていませんか？

作業通路の確保や、資格の確認、反射ベストの着用
職長が正しく指揮をとって作業が行われているか
いま一度皆さんの現場を見直して下さい **安全ルール厳守！**



工事車両は早めのライト点灯を！

← 視界も悪くなる季節ですが
反射ベストは貴方を守ります

そして 年末年始に向けて 気を配ってほしいこと

右に挙げた3点は
今の時期には特に
気を配る必要が
あります。
施工が最優先に
なりがちな年末！
これらの対策も
疎かにならない様に



雪の下は落とし穴

雪・氷対策！



引火したら消せる？

火災防止！



重しが無いと倒れます

歩行者安全確保！

今年も！
無事に正月を迎えましょう！

Q&A 皆さんからいただいた、現場における安全管理の疑問についてお答えするコーナーです

Q **フルハーネスと反射ベスト、どちらも着用が必要な状況ではどうすればいいのか**

A 建設機械が稼働している場所で、高所作業も伴う状況では、フルハーネスを着用しつつ反射ベストの着用も必要となる状況がでてきますが、たしかに
反射ベストをハーネスの上に着用すればランヤードの動きに支障が出ますし、逆であれば反射材がベルトの下になるため、重ねて一緒に着用はできません
その際は、フルハーネスの肩ベルトに反射材を取り付けて建設機械オペレーターからの視認性を確保してください⇒

「安全帯」から「墜落制止用器具」切り替えの期限もあと僅か
2022年から安全帯(としての規格の製品)は使用禁止です

